

医療
最前線

歯科・インプラント

クリニック選択の基準は 治療実績と適確な検査・診断

日坂 充宏・医療法人社団日坂会理事長

インプラント治療を行うクリニックが激増しています。

何を基準にクリニックを選ばよいか、安全性と患者満足度を第一とする医療法人社団日坂会の日坂充宏理事長にお話を伺いました。

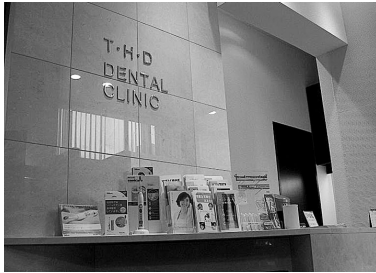


ひさか・みつひろ 歯学博士。日本大学歯学部口腔外科大学院卒。日本大学歯学部非常勤講師、日本抗加齢医学会評議員、厚生労働省認定協力型臨床研修施設指導歯科医、財団法人富士白厚生文化事業団理事、日本口腔インプラント学会会員、アストラテックインプラント認定医、POIインプラント認定医。

年間症例数100以上、 経験年数10年を基準に

インプラント治療が普及し、実施するクリニックも激増しています。しかしその一方で、症例数の少ないクリニックも増加する傾向にあることは否めません。レベルの高い治療を行うためには、実績の積み重ねが必要です。そこでクリニックを選ぶ際には、年間症例数100以上、医師のインプラント経験年数10年以上を基準にされることをおすすめします。さらに、成功率が100%に近いことも重要です。

何よりも安全まで確保が求められる治療



法です。こうした数字は担当医に直接尋ねるのが一番よいでしょう。複数のクリニックに相談して比較するのによい方法

です。じっくり相談する中で、クリニックの設備や雰囲気、姿勢、担当医の人柄や相性などもわかってきます。

私たちは長年インプラント治療に取り組み、2008年の実績は500例以上です。口腔内の状態に合わせて手術回数、治療期間、インプラントの種類などを十分に検討するため、一般のクリニックより期間がかかることもあります。また、インプラントの年間症例数のうち1/4は難症例であり、これが当法人の特徴のひとつともなっています。

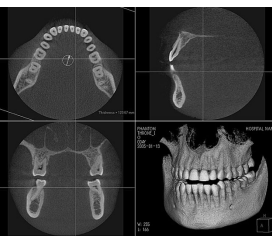
検査や診断をしっかり行う ことは信頼できる

安全性を重視したインプラント治療を行うためには、精度の高い検査と適確な診断が不可欠です。前述した通り口腔内の状態は一人ひとり異なり、十分に検討しないと適切な治療を行うことができません。

いま信頼性の高い検査は、歯科用CTです。2次元のレントゲン検査ではわからなかった部分まで立体的に画像化でき、骨や神経の状態を止しく把握できるため、より適正なインプラント体を正しい位置

に挿入できるのです。2次元の診断では、実際の顎の幅や厚みが異なる場合もあり、術前に準備したインプラント体が合わず、手術時間が長引いたり、治療計画そのものを変更せざるを得なくなったりすることもあります。

当法人では、東京浜松町歯科クリニック内の東京CTインプラントセンターにCTを設置していますが、それで万全とするのではなく、診断や治療計画の立案を複数のインプラント専任の歯科医が担当し、手術も複数の歯科医で行うなど、二重三重のチェック機能が働くよう配慮しています。



何よりも、 患者さんの満足を優先

クリニックを選ぶ基準として、費用や

通院しやすさも重要です。最近では安価であることを全面に押し出す広告もよく見かけますが、こうしたクリニックは多くの患者さんが訪れるため症例数は増えるものの、5年以上経過した症例の割合が非常に少ないという一面もあります。

費用のかかる治療ですから、長くよい状態を保てることを患者さんは期待しています。それに応えるためにも、私たちは「手術して完了」という考え方はしません。治療後だけでなく長くもつかが本当のゴールであり、最終的な完成イメージを詳しく説明できるところも、クリニック選択の基準だと考えています。また、当法人には治療の難易度の高い患者さんも多く訪れますが、技術的な理由でお断りするのは今までありません。いかに患者さんが満足するか、治療してよかったと思えるかが「治療水準」の本当の基準なのではないでしょうか。

●医療法人社団日坂会

東京浜松町歯科クリニック
東京CTインプラントセンター

◎東京都港区海岸1-2-1 汐留ビルディング2F
03-5472-6480

<http://www.shikai.in>